

科目番号		52020	分類	助産管理学	履修者	高度実践助産コース		学年		
科目名	助産管理学特論 (Advanced Midwifery Management)							1		
								配当セスター		
								通年		
担当者	○渡邊香 他5名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概要】 組織と管理における基本概念とそのプロセスを学び、マネージメントの基本的考え方をドラッカー理論から概説し施設助産管理への応用を試みる。また、医療経済、関連法規および周産期医療システムを学び、これからの助産管理のあり方を考察する。 【目標】 1. 助産管理の基本概念とマネージメントプロセスを説明できる。 2. マネージメントの基本的考え方（ドラッカー理論から概説）を説明できる。 3. 医療事故と助産師（関連法規との関連）について説明できる。 4. 助産管理の過程と助産管理の進め方（目標管理）について説明できる。 5. 助産所の管理運営（医療法・保助看法、安全性）について説明できる。 6. 総合病院での助産管理運営（周産期医療システム、助産師外来・院内助産）について説明できる。 7. 開業助産所の運営の実際（財務、人的資源管理、包括的指示の基での医行為、地域貢献）について説明できる。								1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							○	6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
							授 業 計 画			
回	内 容								担当教員	
第1回	ガイダンス、管理の基本と変革								渡邊 他5名	
第2回	周産期の医療事故とリスクマネジメント									
第3回	周産期の医療事故防止の対策									
第4回	判例に見る助産師の法的責任									
第5回	事例から考察する助産師の判断と行為（討議）									
第6回	関連法規と助産師の義務と責任									
第7回	助産管理の過程と助産管理の進め方（目標管理）									
第8回	病産院における助産業務管理 ① ②（助産師外来・院内助産）									
第9回	病産院における助産業務管理③・助産業務管理過程と方法									
第10回	病産院における助産業務管理④・産科棟の管理									
第11回	開業助産所の運営（多角経営）									
第12回	開業助産所の運営（多角経営の管理）									
第13回	助産所の運営の実際（財務、人材育成、医行為、地域貢献ほか）助産所経営									
第14回	助産所の運営の実際（財務、人材育成、医行為、地域貢献ほか）助産所経営									
第15回	総合講義、助産管理に関する今日的課題と助産師の役割									
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。事前事後学習には 30～60 分程度で出来る課題を課す。									
評価の方法	課題レポート（50％）、授業・討論への参加状況（50％）にて総合的に評価する。									
参考図書・資料等	◎助産学講座 10 助産管理 我部山キヨ子 第6版 医学書院 2022 ◎新版 助産師業務要覧 第4版 [Ⅰ基礎編]、2024 福井トシ子 日本看護協会出版会 ・助産業務ガイドライン2024 日本助産師会出版 2024 ・新版 助産師業務要覧 第4版 [Ⅲアドバンス編]、福井トシ子 日本看護協会出版会 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。 ＊講義内容の順番については変更あり									